

ジェイアール・イーストユニオン

# ジャステイス新潟

不変の正義と民主化された労働運動を求めて！

ジェイアール・イーストユニオン新潟地方本部

発行者 神田 広栄

編集者 教 宣 部

平成30年3月9日 第25号

〒950-0086

新潟市中央区花園1丁目6番30号大幸ビル1-B

Tel. 025-250-6553 JR 041-2490

## ジェイアール・イーストユニオン 新潟地方本部 第4回地方委員会

### スローガン

民主的労働運動を次代に引き継ぐため、ビッグイノベーションを  
巻き起こし全力をもって組織拡大に邁進しよう！

### サブスローガン

1. 安全最優先の職場風土の深度化を図り、JR連合「安全指針」を軸に「すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」を達成しよう！
2. 全組合員が一丸となり2018春季生活闘争に臨み、月例賃金の引上げ、総合生活改善を勝ち取ろう！
3. イーストイノベーションで、組織拡大を成し遂げ、JR連合10万人をめざし「あるべき労働組合像・労使関係像」を実現するため、組織拡大・強化に全力を傾注しよう！
4. 健全な労使関係を築き人材育成・技術継承問題を克服し、社会から信頼されるJR東日本を創り上げよう！
5. 「働くことを軸とした安心社会」を構築し、労働者の尊厳を守るとともに、労働条件の維持・向上を成し遂げよう！

委員会内容は裏面に

連合にはJRからJR連合とJR総連が加盟しています  
ジェイアール・イーストユニオンは  
JR東日本で唯一のJR連合加盟単組です  
JR連合 82,000 人の仲間たちと未来を語り合いましょう！

自らを変える!! 明日を創る!! イーストイノベーション

# 最後の詰めは自分たちで！



委員会では冒頭に、2月8日に亡くなられた新潟保線技術センターの押味孝治さんへ参加者全員で黙祷を捧げました。その後、議長には長岡支部の日光委員を選出し委員会次第に則り進められました。

地本代表の挨拶では、急な病に欠席を余儀なくされた神田執行委員長に代わり、斎藤執行副委員長が「雪害による輸送障害が起きた。社員の技術継承も一因か。今こそ我々の力が必要ではないか」「東労組争議行動については、各職場での情報収集を」「青野君が加入してくれたが、会社からも周囲の対応も全く問題ないと聞いている。拡大に向けて環境は整っている」と挨拶しました。

中央本部からは菅野委員長が挨拶に立ち「東労組は昨年、春闘交渉前の三六交渉で定額ペア勝ち取ったと喧伝し、本部は会社に労組の公平性について申し入れ確約を取った。今年も東労組は同じことをしようとしたが会社に拒否されスト権まで暴走した。革マル問題の閣議決定も出され拡大の環境はできてきているが、最後の詰めは自分たちでやらなければならない」と決意を述べました。

続いて執行部よりこれまでの経過報告と活動方針が提案され、質疑応答では8名の方々から発言がありました。



## 発言内容集約

- ・除雪体制について、現場からの間合い確保の要請が聞き入れられない。
- ・輸送混乱時に運休や代行輸送などの情報が届かず、お客様の案内に苦勞する。
- ・設備関係の将来展望はどうなっているのか聞かせてもらいたい。
- ・新潟の東労組組合員はスト権問題も我関せずである。



## 地本側応答

○冬期前に事前対策は立てているようだが使いこなせずに機能していないのではないかと。勉強の場が少なく、技術継承にも問題があるのではないかと。冬期検証で一つひとつ事例を挙げて申し入れていくので各部会で集約してもらいたい。

○設備について会社側は施策を検討しているようであるが、現時点での具体的な話は聞いていない。  
○東労組組合員へは切ることなく声をかけてもらわないことには先へ進めない。一人ひとりがアンテナを高く持って全員で動いてもらいたい。



最後に集約答弁で池田事務局長は「冬期問題や輸送障害など、これまで頂いた組合員の声を基に交渉を進めていく」「首都圏では東労組組合員の大量脱退を聞くが、新潟地本が一番動きが遅いだろう。主体的になって動く者、若手に手本を示せるような年配者がいるだろうか。ここを一点突破に、腰を据えてブレずに、結果を残していこう」と、まとめました。



## 新潟地方本部の総力を挙げて

# 腰を据えてブレずに、結果を残そう！

